

辻井タカ子後援会だより

2009年
3月

第144号

辻井タカ子のホームページアドレス
<http://www.t-takako.jp>

発行者：日本共産党富木島後援会
連絡先：堀本：604-5820
：辻井：604-7914



辻井タカ子議員の報告

3月議会は次の質問をします

(1) 急速な景気悪化から生活を守る施策について 大企業の下請け切りで地域経済・市民生活は？

- ① 地域経済や市民の悪影響をどのように把握し、認識しているのか。また、歳入減による市財政への影響と対策はどうか。
- ② 「雇い止め」や失業などの相談内容・件数と対応はどうか。また、総合相談窓口を設置すべきではないか。
- ③ 市内企業に雇い止め・解雇をしないよう求めるとともに、雇用・営業の実態調査をすべきではないか。

災害時並みの緊急援助支援策が求められているが...

- ① 緊急雇用創出事業交付金などを活用した雇用創出事業の取り組み状況はどうか。また、市の臨時職員として雇用を確保すべきではないか。
- ② 住宅のリフォーム工事を市内業者でした場合に助成する制度を新設してはどうか。
- ③ 税金滞納者の行政サービスに対するペナルティは見直すべきでは

(2) 最重点課題である降下ばいじん対策について

- ① 今年度の南部における降下ばいじん量の測定結果と評価はどうか。
- ② めざそう値の達成が困難と思われるが、その要因はなにか。
- ③ 新日鉄のばいじん対策の今後の計画の有効性をどのように考えているか。
- ④ 現在の協定値のばいじん排出量341kg/hを決めたのはいつで、この値を下げる考えはどうか。
- ⑤ 公害防止協定において、工場で環境負荷のあるものを新設、増設などをする場合、現状より負荷を下げた規制値を見直すべきではないか。
- ⑥ 降下ばいじん量の管理目標値の設定や測定地点ごとの評価をすべきではないか。
- ⑦ 2次、3次の飛散防止対策として、散水、清掃、排水整備、タイヤ洗足装置などの徹底はどうなっているのか。
- ⑧ 企業に公害防止対策、実態、課題の認識を住民と共有するため、情報提供をさせるべきではないか。

お知らせ

3月議会が始まります。誘いあって傍聴に出かけましょう

3日	火	午前9時半～	故安井ひでき議員の追悼演説、議案上程
4日	水	午前9時半～	一般質問
5日	木	午前9時半～	一般質問 辻井議員は午後1時頃からの予定

追悼演説は他会派の方がされます。安井議員の議会での活動ぶりを聞きに行きましょう。傍聴の出入りは自由です。

43名の参加

活用されています

日本共産党東海市議団が昨年末（12月24日）に申し入れた中小企業の緊急対策の中で、「全国緊急保障制度」の、信用保証料を市が補助する制度が実現し活用されています。詳しくは辻井タカ子議員まで

「日本共産党東海市後援会」は、今年の行事をみんなて話し合う会をお寿司屋さんで行い、4月下旬に「大和十三佛まいり」を計画しました。詳しくは後日お知らせします。当日は予想以上の参加者で、雇用、消費税反対などの署名も多く集まりました。

写真で紹介



道北
コンニャク会社

ビラ配布中、見慣れた会社を知ったのは最近。はじめて見るコンニャクイモ。はじめる三十人程の人手で出来上がった商品は地元のお店に出荷されているそうです。



声

＜雇用促進藤島宿舎で署名中に＞
10年程前、ブラジルから日本に働きに来て、昨年末にトヨタ系会社からリストラされた。4人家族でハローワークから6ヶ月の期間でここを紹介されたが仕事を探すのは厳しい。将来はブラジルに帰る希望を持っている。

声

先日、雇用促進住宅についての説明会が行われました。
来年11月末までに出て行くようにと言われた。出て行くところ、住む家がないということは政治家には解らないのか。一方的に決まった事だから伝えるだけ…の一点張りで話にならない。